

令和7年度 音威子府村立音威子府小中学校の教育

学校教育目標

「みがき きたえ つなぐ」

目指す子どもの姿

- 基礎・基本を確実に身に付け、主体的・意欲的な学習につなげることができる児童生徒
- 課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を高めるとともに、新しい知を創造する児童生徒
- 自他の生命を尊び、積極的に体力づくりに努める児童生徒
- ものごとに粘り強く取り組み、達成感や成就感を次につなげることができる児童生徒
- 優しい気持ちで仲間へ接し、相手のよさに目を向けながら、共に高まろうとする児童生徒
- 郷土（ふるさと）を愛し、自分の将来の夢や目標に向かって努力する児童生徒

今年度の学校経営の方針

共に学び、共に高め合う学校経営の推進

目指す学校像

子どもにとって、「楽しい学校・明日も行きたい学校」
教職員にとって、「いきいきと働きがいのある学校」
保護者・地域住民にとって、「安心できる学校・信頼できる学校」

学校経営の具体的推進事項

- 1 小中9年間を見通した指導の拡充・改善
 - ・子どもの学習や生活に関わり積極的な情報共有を行い、9年間のゴールに向けて個別最適な学びを推進
- 2 働き方改革の推進
 - ・北海道アクション・プラン（第3期）を踏まえた業務の精選・効率化などによる教育の質的向上
- 3 教育課程の充実
 - ・学習指導要領の趣旨を踏まえ、発達段階に応じた系統性と教科横断的な教育課程を編成・実施
 - ・地域の教育資源を生かし、郷土への愛着を育む教育の推進
- 4 確かな学力の定着に向けた学習指導の充実
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、研修活動を充実させ、授業改善を推進
- 5 児童生徒の心理的安全性の確保と、地域・保護者との信頼関係の充実
 - ・児童生徒が安心して通えるために、心の教育と相談体制を充実させ、保護者・地域との信頼関係の構築と深化

保護者の願い

- ・好奇心と夢と情熱にあふれ、自分が好きなことに夢中に取り組んでほしい。
- ・お互いに尊重し合い、共に成長してほしい。
- ・思いやりの心など豊かな人間性が身に付くようになってほしい。
- ・話し上手、聞き上手、コミュニケーション上手になってほしい。
- ・最後まであきらめず、一つのことをやりきれる力をつけてほしい。
- ・お互いの苦手のことでも理解しながら、自分を大切にしてほしい。
- ・挨拶、返事、感謝などの言葉をはっきりと言える子どもに育ててほしい。
- ・実際に他校に行くなどの他校との交流を実施してほしい。
- ・自然体験を充実してほしい。

家庭との協働

- ・子どもの実態、課題の共有
- ・望ましい生活習慣の定着（早寝・早起き・朝ご飯、運動の日常化）
- ・家庭学習の継続・習慣化

地域と協働（学校運営協議会等）

- ・学校の教育活動・課題の共有
- ・地域資源を活かした教育活動（おと高、幼児センター、木遊館など）
- ・合同行事の連携、協働

音威子府小中学校 校務分掌と学校運営

教務部 学校運営に関わる全般、教育課程の管理
文化・図書に関すること 等
(檜山・太田・伊井・穂刈)



参観授業



おと高卒業制作発表会訪問

生徒指導部 校内・校外生活に関わること
安全・体育に関すること 児童会・生徒会 等
(坂本・市原・藤田・白倉)

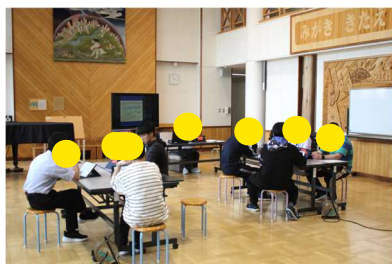


集団下校訓練



児童会・生徒会活動

研修部 授業改善・学力の定着を図る授業づくり
ICT利活用・情報教育 等
(吉田・平川)



校内研修



上川教育局指導主事訪問

事務管理部 校内文書等管理・備品購入・施設営繕 等
(木村・中西)



図書購入（予算執行）



こども新聞購読